

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

## 小児難治性 ITP 治療ガイド 2019

日本小児血液・がん学会血小板委員会（委員長：石黒精 国立成育医療研究センター、教育研修センター・血液内科）

日本小児血液・がん学会雑誌 第 56 巻 1 号 2019 年

### ■1 加味帰脾湯

疾患：

小児 ITP【免疫性血小板減少症】

引用など：

- 1) 桜井信男, 安永幸二郎, 野村武夫, ほか. 特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) に対する TJ-137 ツムラ加味帰脾湯の多施設臨床評価. *臨床と研究* 1993; 70: 345-52.
- 2) 和田和夫, 小林正行, 南川光三, ほか. 特発性血小板減少性紫斑病に対する加味帰脾湯の使用経験. *漢方医学* 1993; 17: 383-6.

有効性に関する記載ないしその要約：

その他の治療法の項に、下記の記載がある。

『漢方薬：加味帰脾湯などの報告があるが、小児 ITP【免疫性血小板減少症】でのエビデンスが少なく、推奨には至っていない。』